

医療の質測定 定義書

更新日：2023年5月1日

基本情報

指標番号

2124_2

名称

カルバペネム・ニューキノロン・抗 MRSA 薬使用までの培養検査実施率

分母

カルバペネム系注射薬、ニューキノロン系注射薬、抗 MRSA 薬（バンコマイシン内服は除く）投与を開始した入院症例数

分子

分母のうち投与開始初日までに培養検査を実施した人数

指標群

感染症

意義

広域抗菌薬を使用する際の望ましいプラクティス

年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020,2022

必要データセット

EF ファイル

指標の定義算出方法

分母の定義

- 入院中の広域抗菌薬(下記) に該当するものを検索する。また入院中の最初の算定日を同定し、最初の算定日のみを対象とする。

薬価基準コード7桁	名称	成分名	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
6113400	抗 MRSA 注射薬	バンコマイシン塩酸塩	○	○	○	○	○	○	○
6119400	抗 MRSA 注射薬	アルベカシン硫酸塩	○	○	○	○	○	○	○
6119401	抗 MRSA 注射薬	テイコプラニン	○	○	○	○	○	○	○
6119402	抗 MRSA 注射薬	ダプトマイシン	○	○	○	○	○	○	○
6139400	カルバペネム系注射薬	メロペネム水和物	○	○	○	○	○	○	○
6139401	カルバペネム系注射薬	ビアペネム	○	○	○	○	○	○	○
6139402	カルバペネム系注射薬	ドリペネム水和物	○	○	○	○	○	○	○
6139501	カルバペネム系注射薬	イミペネム水和物・シラスタチンナトリウム	○	○	○	○	○	○	○
6139503	カルバペネム系注射薬	パニペネム・ベタミプロン	○	○	○	○	○	○	○

医療の質測定 定義書

更新日：2023年5月1日

薬価基準コード7桁	名称	成分名	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
6241400	ニューキノロン系注射薬	シプロフロキサシン	○	○	○	○	○	○	○
6241401	ニューキノロン系注射薬	パズフロキサシンメシル酸塩	○	○	○	○	○	○	○
6241402	ニューキノロン系注射薬	レボフロキサシン水和物	○	○	○	○	○	○	○
6249401	抗 MRSA 注射薬	リネゾリド	○	○	○	○	○	○	○
6249402	抗 MRSA 注射薬	テジゾリドリン酸エステル					○	○	○
6249002	抗 MRSA 経口薬	リネゾリド	○	○	○	○	○	○	○
6249003	抗 MRSA 経口薬	テジゾリドリン酸エステル					○	○	○

2. 特定機能病院を除く

分子の定義

- 入院日より分母で同定した広域抗菌薬の最初の算定日まで（最初の算定日を含む）に、下記の培養の実施があれば分子1とする。

診療行為コード	基本漢字名称	コード	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
160058210	細菌培養同定検査（口腔からの検体）	D018_1	○	○	○	○	○	○	○
160144410	細菌培養同定検査（気道からの検体）	D018_1	○	○	○	○	○	○	○
160144510	細菌培養同定検査（呼吸器からの検体）	D018_1	○	○	○	○	○	○	○
160058310	細菌培養同定検査（消化管からの検体）	D018_2	○	○	○	○	○	○	○
160058610	細菌培養同定検査（血液）	D018_3	○	○	○	○	○	○	○
160144710	細菌培養同定検査（穿刺液）	D018_3	○	○	○	○	○	○	○
160058410	細菌培養同定検査（泌尿器からの検体）	D018_4	○	○	○	○	○	○	○
160144610	細菌培養同定検査（生殖器からの検体）	D018_4	○	○	○	○	○	○	○
160058710	細菌培養同定検査（その他の部位からの検体）	D018_5	○	○	○	○	○	○	○
160058810	細菌培養同定検査（簡易培養）	D018_6	○	○	○	○	○	○	○

その他

薬剤一覧の出力

はい

リスク調整因子の条件

指標の算出方法

分子÷分母

指標の単位

パーセント

結果提示時の並び順

降順

測定上の限界・解釈上の注意

1. バンコマイシンの内服薬は腸炎への利用であり、用途が異なり分母から削除した
2. 本定義では、広域抗菌薬を「抗 MRSA 薬（内服、注射、バンコマイシン内服は除く）、カルバペネム系注射薬、ニューキノロン系注射薬」としている（2018年度の定義の見直し時）
3. 外来や紹介元での検査結果をもとに治療している場合、指標値が低くなる
4. スクリーニング検査などを実施している場合、指標値が高くなる
5. 特定機能病院では、微生物学的検査は基本的検体検査実施料に含まれ、検査項目が EF ファイルに記載されない場合が多い。

参考資料

参考値

参考資料

1. 抗菌薬適正使用支援プログラム実践のためのガイダンス
https://www.kansensho.or.jp/uploads/files/guidelines/1708_ASP_guidance.pdf
<http://www.kankyokansen.org/uploads/uploads/files/jsipc/ASPguidance.pdf>